

2017年7月3日

**アムンディ・ジャパン、アムンディ プロテクトシリーズ™を導入
SMBC・アムンディ プロテクト&スイッチファンド™（愛称：あんしんスイッチ™）を本日より募集開始**

アムンディ・ジャパン株式会社

アムンディ・ジャパン（東京都千代田区、代表取締役社長：ジュリアン・フォンテーヌ）は、このたび日本市場において投資未経験者にも資産運用の第一歩として提供可能な商品ラインアップとして、アムンディ プロテクトシリーズ™を導入し、日本の幅広い層への資産形成をサポートいたします。

アムンディ・ジャパンはアムンディ プロテクトシリーズ™の第一弾として、日本初※1となる、資産保全型マルチアセットファンドに、基準価格の下値を一定の水準で確保する新しいコンセプト（プロテクトライン™）を導入したファンド「あんしんスイッチ™」を本日より募集開始いたします（販売会社：三井住友銀行）。

アムンディの母国であるフランスの国民は、資産運用に非常に保守的でリスクを回避する傾向があります。このリスク傾向は日本とよく似ていますが、一方でフランスの個人投資家向け投資信託市場は世界第3位の投信大国に成長しています。その背景の一つには、リスクが相対的に低い一定の資産保全の考えを取り入れた商品が販売されてきたことが挙げられます。フランスでは世界に先駆けて、この資産保全型ファンドが広く浸透しており、アムンディは、1990年代に資産保全型ファンドを開発して以来、同領域におけるフランス国内トップシェア※2と豊富な運用経験を誇ります。

今後、アムンディはプロテクトシリーズ商品の開発を通じて、日本における同カテゴリー領域の発展をリードすると同時に、欧州での成功体験を活かして、日本の投資信託、引いては個人のお客さまの資産形成に貢献して参ります。

*アムンディ プロテクトシリーズ™、ファンドの詳細については、ホームページで公開しています。

<http://www.amundi.co.jp/>



※1： モーニングスター調べ（2017年4月末時点）。国内籍公募追加型株式投信において、モーニングスター大分類「バランス型」（確定拠出年金及びファンドラップ専用、ETF等は除く）に属し、交付目論見書の投資目的・特色の欄において、基準価額を一定水準で確保するタイプとして考えられるファンドを対象。

※2： モーニングスター調べ（2017年4月末時点）。グローバルカテゴリー「Capital Protect」に属するファンドの純資産総額のデータに基づく。

アムンディについて

フランス・パリに本拠を置くアムンディは、世界 30 カ国以上の拠点網と約 133 兆円の運用資産額を誇る欧州最大※3の資産運用会社であり、世界有数の金融機関、クレディ・アグリコル・グループの一員です。最も重要な海外拠点である日本においてアムンディ・ジャパンは、40 年以上にわたり、革新的な運用手法で日本のお客さまに最適な運用ソリューションを提供しています。

※3 出所：インベストメント・ベンション・ヨーロッパ誌による「資産運用会社トップ 400 社」調査（2017 年 6 月版、欧州に本拠地を置く運用会社の 2016 年 12 月末の運用資産額）に基づく

アムンディ アセットマネジメントは、株式資本 596,262,615 ユーロを有するフランスにおける法人（Société Anonyme）形態の運用会社であり、フランス金融市場庁（AMF）の監督下にあります（登録番号：GP 04000036）。本社：90, boulevard Pasteur, 75015 Paris, France - 437 574 452 RCS Paris.

本件に関するお問合せ先：アムンディ・ジャパン株式会社 広報室
e-mail：pr@jp.amundi.com 直通：03-3593-5700

投資リスクについて

ファンドは、主として世界の株式、債券、不動産投資信託証券（関連する証券（上場投資信託証券等）を含みます）等の値動きのある有価証券（外貨建資産には為替変動リスクがあります）に実質的に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。ファンドの基準価額の下落により、損失を被り投資元本を割込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者に帰属します。なお、投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の変動要因としては「価格変動リスク」「金利変動リスク」「為替変動リスク」「資産等の選定・配分リスク」「流動性リスク」「信用リスク」等があります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

手数料・費用等

投資者の皆さまに実質的にご負担いただく手数料等の概要は以下のとおりです。ファンドの費用の合計額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することはできません。くわしくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

〈投資者が直接的に負担する費用〉

購入時手数料	ありません。	信託財産留保額	ありません。
--------	--------	---------	--------

〈投資者が投資信託財産で間接的に負担する費用〉

運用管理費用（信託報酬）・保証料	純資産総額に対して 年率1.4404%（税込）以内※ ※ファンドの信託報酬年率1.2204%（税込）以内に保証料年率0.22%を加算しております。ただし、基準価額がプロテクトラインまで下落し、繰上償還が決定した場合は、繰上償還決定の翌日から償還日までには保証料（年率0.22%）のみとなります。 ◆上記の運用管理費用（信託報酬）および保証料は当資料作成日現在のものです。
その他の費用・手数料	その他の費用・手数料として下記の費用等が投資者の負担となり、ファンドから支払われます。 ・有価証券売買時の売買委託手数料および組入資産の保管費用などの諸費用 ・信託事務の処理等に要する諸費用（監査費用、目論見書・運用報告書等の印刷費用、有価証券届出書関連費用等を含みます。） ・投資信託財産に関する租税 等 * その他の費用・手数料の合計額は、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することはできません。

当資料は、SMBC・アムンディ プロテクト&スイッチファンド（愛称：あんしんスイッチ）へのご理解を深めていただくことを目的として、アムンディ・ジャパン株式会社が作成した資料です。当ファンドをお申込みの際には投資信託説明書（交付目論見書）などを販売会社よりお渡しますので、必ず内容をご確認のうえご自身でご判断ください。